

雄峰の由来

「風雪に耐えた高峰は
雄大で気品と自信に満ちている」



雄峰

第165号

編集・発行 P T A 広報部

鹿児島市郡元一丁目20番35号

令和5年3月7日

卒業おめでとうございます

中学校生活3年間をコロナ禍ですごしてきた3年生。学校行事や部活動に制限がある中でも、充実した日々を過ごすことができたのは、支え励ましてくれた仲間・先生方・保護者がいたから…。たくさんの思い出を胸に、未来に!夢に!はばたけ!!

「前途洋々たる君たちへ」

P T A 会長 有村 純頼

新型コロナウイルス感染症という未知のウイルスが国内に流入し始めて数か月、上級生たちが歌うタンホイザー行進曲をビデオで視聴しなければならなかった入学式から、まもなく三年の月日が流れようとしています。この度卒業を迎えられる三年生の皆さんにとっては、学校生活や学校行事、部活動などにおいて大きく影響を受けたことと思います。しかしながら皆さんはその逆境ともいえる状況の中で、創意工夫を凝らし、新しいやり方を取り入れ、しっかりとした学校生活を送り、立派に成長されました。そのことはさすが附中生と称賛に値することであり、誇りに思うべきことだと思います。これから歩んでいく人生の中で、幾度となく困難や試練が目の前に立ちふさがることもあるかもしれません。その時はこの三年間で体現したように、それから逃げることなく真正面から解決に果敢に挑戦してほしいと思います。これまで育ててくれたご両親やご指導いただいた先生方への感謝の心を胸に、利他の精神、先取の精神で頑張ってください。

「ファイティングポーズをとりなさい」

三年学年主任 川原 武敏

私も赴任してもう八年。もしかしら、この子たちが、附属中学校で送り出す最後の卒業生になるかもなど、感慨深い思いでみんなを見てきました。何回言ってもできなかったり、何も言っていないのにお利口さんに動いていたり、三歩進んで三歩以上下がってしまうこともあれば、一気に五歩くらい進むときもあって、泣いて、笑って…。177オリジナルの成長物語はおもしろくて、楽しく関わらせてもらいました。

みんな我が子のように、どんなみんなも177通り愛おしくて、成長して巣立つ喜びは何とも言葉になりません。私は、何歩進んで何歩下がっても、一歩でも進んだ経験や進もうとした気持ち、いつか実を結ぶと信じています。何度打たれても、負けずに前に出る人の目は鋭く、魂を感じます。悩んだら、ファイティングポーズをとりなさい。強く優しくなった「己」で、困難と闘いなさい。177人の子どもたち。卒業おめでとう。そして、ありがとう…。

伝統の復活

壁画制作

壁画制作委員長 中道 結愛さん、副委員長 築山千勢さんを中心に1・2年生の全クラスが協力して、現在制作に取り組んでいます。

タンホイザー行進曲

4年ぶりにタンホイザー行進曲が帰ってきます。現在多田桃子さん(ソプラノ)横山英美さん(アルト)岩元利陽仁さん(テノール)桑水流廉人さん(バス)の各パートリーダーと、西元菜々子さん(指揮)島田ひかるさん(伴奏)を中心に心を込めて練習中です。

3月13日 卒業生を囲む会 に向けて準備中



高校進学に向けて先生方が準備された、沢山の応援メッセージ入りグローブ

「伝統のたすきを
つなぐ」



副校長 楠原 豊

毎年楽しみにしている正月の風物詩がある。それは大学生の箱根駅伝だ。選手一人一人が一本のたすきをつなぎチームのために全力で走る姿、走り終わったあとコースに深々と二礼する姿に心を打たれる。

三月になり、附中でも下級生にたすきを渡す時期となった。三年生は入学以来ずっと、感染症対策のため様々な制限があった。しかし、どんなに苦しく大変な時でも、明るく元気に、そして前向きに運動会や文化祭、修学旅行、生徒会や部活動等で立派な姿を後輩に示してくれた。そんな三年生全員に拍手を送りたい。

一、二年生は、三年生のたすきをしっかりと引き継ぎ、附中の新たな伝統を創り上げてほしい。

間もなく卒業式である。「歌にはじまり歌におわる」附中の伝統を引き継ぎ、最高の卒業式を創り上げよう。

3年生の皆さんの新たなスタートを応援しています

卒業生から

今年も恒例の昨年春に卒業した先輩から、受験を控えた3年生へ合格祈願のメッセージが届きました。迫力ある熱い思いに3年生も鼓舞されたことでしょう。※スペースの都合により一部掲載



先生方から

チェック&アチーブ題字に込めた思い

毎年冬休み直前、3年生に配られる“Check&Achieve”は、附属中の先生方からの贈り物(問題集)です。今年のタイトルは「闘」。タイトルに込めた思いを3年学年主任(川原先生)に聞きました。



「闘」は、目に見えないもの、得体のしれないもの等、弱い自分自身の心や予測不可能な時代と向き合う意味があります。これまでたくさん闘ってきて心身ともに大きく成長しましたが、卒業後の長い長い人生では、次々と訪れる数々の困難や悩みにひるまず、向き合って立ち上がる強さがまだまだ必要になります。入学時から合言葉にしている「Fighting pose」に倣って、177人それぞれが永遠に「闘」う姿勢を心に留めて、それぞれの道を邁進してほしいという願いをありったけ込めて、書に表しました。

3年1組



担任 永峯枝里子先生
できない理由を 探さない

副担任 川原 武敏先生
強い人は優しい。人を許せる
寛大で心優しい人であれ。



3年2組



担任 森 健太郎先生
平坦よりも山あり谷あり
自分の道突き進もう



副担任 川原 武敏先生
優しい人は強い。人のために
立ち上がる強い人であれ。



3年3組



担任 宮ヶ谷雄二先生
君の夢よ 叶えと願う
あふれ出す ラルラリラ



副担任 永田 恵先生
人生に必要なのは愛・運・縁・恩



3年4組



担任 中野 弘章先生
 前途を目指して羽ばたけ！
 自分自身に勝利を告げるために。

副担任 天野 慎也先生
 楽しい人生を送るには、何事も
 楽しもうとする気持ちが大切です。



3年5組



担任 篠崎 啓太先生
 成功の反対は、失敗ではなく
 チャレンジしないこと！

副担任 前園 清幸先生
 生産性のある日々を！
 熱量のある毎日を！



総務部

PTA副会長 永井 宏和

まずPTA副会長の依頼を受けた時は、役員自体初めての経験なので自信もなく、お断りしようかと悩みましたが、PTA会長の熱いお誘いをいただき、また家族にも相談したところ背中を押されたので、気持ちよくお受けいたしました。

最初は何もわからず、右往左往する状況でしたが、役員の皆様に丁寧な指導を仰ぎ立ち位置や活動内容を理解することができました。

また先生方とお話しする機会が増える中で、学校側の教育への取り組み方や生徒の成長への熱い思いなどを身近に感じる事ができ、貴重な体験をさせていただく機会に恵まれたことは私自身の財産になりました。

私が過ごした学校生活は時代とともに様変わりしており、家庭内でも子どもに対しての教育やコミュニケーションの取り方にも活かすことができました。

またコロナ禍の中、生徒たちを守る為、制約がある学校生活を送らざるを得ない状況下でも先生方が蔓延防止を務める努力を最大にされ、修学旅行や運動会、部活動等様々な行事を遂行し、生徒たちにより多くの経験をされたこと

には感謝致しました。

その中で、やはり学校・保護者・生徒が三位一体となつていかないとPTAの重要性を感じ取れる一年となりました。

PTA副会長 金木 詔子

何事にも全力で挑戦する子どもたちの姿を見守りながら、役員の皆様を中心に創意工夫を重ね年間PTA活動に取り組んで参りました。今年度は数年ぶりに復活した学校行事やPTA活動もあり、本来の附属中学校の姿に少し近づけたように思います。今年度も大変な環境の中において情熱を持って子どもたちをご指導くださいました先生方、PTA活動にご尽力賜りました保護者の皆様に心より感謝申し上げます。

学年部

三学年委員長 古手川純子

受け継がれてきた附属の伝統を守りながら、価値観の急激な変化に対応し、進化するPTA活動を目指して取り組んでまいりました。

誰もが経験したことのない不安と三年間向き合い、みんなで心と力と知恵を合わせて、様々な活動を進めることができました。子どもたちに真摯に向き合い熱

心にご指導くださった先生方、PTA活動にご理解とご協力をいただきました保護者の皆様

に心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

二学年委員長 井上 亜紀

コロナ禍の生活から三年ぶりに復活した行事が少しずつ増えて、二年生の迫力満点の全員合唱も戻ってきました。この歌声には多くの感動をいただきました。行事を終える度に子どもたちも快然と達成感を味わったのではないのでしょうか？

日頃より子どもたちのために寄り添ってご指導くださった先生方、PTA役員の皆様、保護者の皆様、PTA活動にご理解、ご協力いただき感謝いたします。心より感謝申し上げます。

一学年委員長 兒玉万里子

真新しい制服に身を包み、緊張の入学式を迎えてから早いもので一年が経とうとしています。本年度は、コロナ禍であるにも関わらず、ほとんどの学校行事を経験することができ、身体的にも精神的にも大きく成長できた一年でした。この一年、感染症対策への配慮や、学習面・生活面でご指導くださいました先生方をはじめ、PTA活動にご理解ご協力をいただきました保護者の皆様

専門部

研修部長 諏訪 美和

今年度も活動に制限がある中、研修部の年間テーマである「子どもの自立を支える家庭の在り方」に基づき、活動してまいりました。

三年ぶりに「研修視察」を鶴丸高校、樟南高校のご協力により実施することができ、「教育講演会」では多くの保護者にご参加いただきました。これらの活動が、家庭においての会話のきっかけになれば幸いです。

最後に先生方、会員、部員の皆様のご理解とご協力のもと、活動が円滑にできましたこと、心より感謝申し上げます。

生活部長 徳重みゆき

新しい生活様式と言われたものが、日常になりつつあります。生活部の活動も変更せざるを得ないものがありました。見守り活動や「夏期合同補導」、登下校に関するアンケート」などを実施することができました。活動を通して、子どもたちが日常の大きな変化に順応に対応する様子や、真っ直ぐな姿勢に附属中らしさを感じ、充実した活動となりました。ご理解、ご協力を賜りました先生方、会員の皆様

保健部長 長野 朱音

今年度も活動に制限がある中、年間テーマ「親子で取り組む附中生活」食事・睡眠・アウトメディアの取組」に基づき、「おにぎり弁当の日」や「子どもの健康生活づくり」についてのアンケート」等を行い、子どもたちが心身ともに健康な中学校生活を送れることを願って保健活動に努めて参りました。

ご協力いただきました先生方、会員、部員の皆様

広報部長 田淵 智美

広報部の活動を通して、いち保護者としては知ることのできなかった他学年の生徒の様子や先生方の日々のご尽力を目の当たりにし、そのような様子を少しでも多くの人に知っていただきたいという思いで取り組んで参りました。そして、コロナ禍に入つて数年たち、少しずつ生活様式も戻りつつありますが、学校行事は元に戻っているようで、伝統を大切にしながらも形を変えて前に進んでいます。そのことも併せて少しでも皆様にお伝えできましたら幸いです。

お忙しい中、原稿を寄せてくださった生徒の皆さん、先生方、保護者の皆様、また紙面づくりにご協力いただきました部員の皆様、各専門部長の皆様、担当の前之園先生に心より感謝申し上げます。



研修部

教育講演会 令和4年11月17日(木)

「“性知識”でより素敵な人生に
～性知識がこころ・からだを救う～」

講師 性教育認定講師・思春期保健相談士 山崎 眞子氏



今年度は、中学生ならではの思春期の性の悩み、自分たち親世代は必ず通る更年期のことを学び、これからの親子の関わりに活かして頂ける内容の講演会を開催いたしました。

皆様より頂きました事前質問をもとに、県内で多くの性教育講話をされている山崎先生に丁寧な講演をしていただきました。ご自身の体験を交えながらの講話に117名の保護者は熱心に耳を傾けていました。

会場には、山崎先生がお持ちくださった書籍や生理用品、更年期関連のグッズ等の展示コーナーを設置しました。参加した保護者は手に取り、とても関心を示していました。

性教育とは？

実は…性教育は【人権教育】

性教育を通して性について正しい知識を持つことで、自分自分らしく生きていくことができ、人生がより豊かなものになる。

正しい性の情報を!!

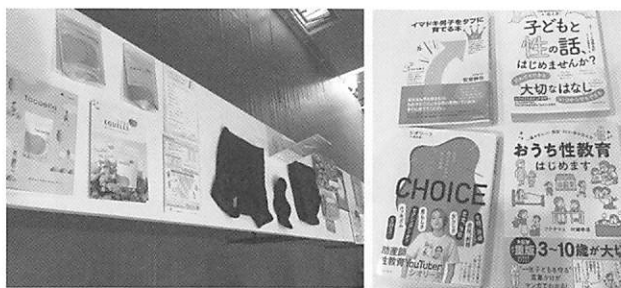
性の知識がなかった、意識が低かったでは、望まない妊娠や性感染症など取り返しのつかないことになる。

雑誌・漫画・インターネット等の情報は誤った情報が多いことを知らない子が多い。子どもから質問されたとき、ただ知るだけでなく、知り方を学ぶことができる性教育本・SNSの活用をすると良い。特に『セイシル』『セクソロジー』がおすすめ。

セイシル



セクソロジー



性加害・性被害予防のために大切なこと

性的な行為に対して「積極的にしたいと望むお互いの意思」が大切である。互いに思いやりを持ってステキな関係を築いてほしい。



思春期 vs 更年期

思春期と更年期はバランスが乱れる理由は異なるが、からだもこころも不安定な時期である。子どもに過剰に対応するのではなく静観し見守ることも必要であり、子どもの声にしっかりと耳を傾ける傾聴の姿勢が大切である。

更年期について

症状が出始める時期も、症状も様々であるため、まずは、日頃の習慣を見つめ直してみることも大切です。他の病気と診断されなかったら更年期障害を考えて、自分に合った対処方法を選択するとよい。

治療法：ホルモン補充療法、漢方薬、サプリメント、向精神薬、ヒト胎盤エキス（プラセンタ）

まとめ

性の知識があれば、性への意識が高ければ、自分を守る術となる。『自分』を大切に、『ひと』を大切に自分らしく素敵な人生を過ごしてほしい。



アンケート結果から

- 自分たちが性に関する知識がないことに気づかされた。
- 性について、子どもと対話する姿勢など家庭でも実践していきたい。
- 親も正しい知識を学びながら、子どもに教えていくことの大切さを実感した。
- 正しい知識を得られる方法、気軽に相談できる場所など、身近に活用していきたい。



保健部

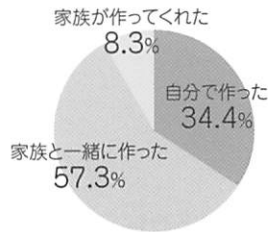
年間
テーマ

親子で取り組む附中生活 ～食事・睡眠・アウトメディアの取組～

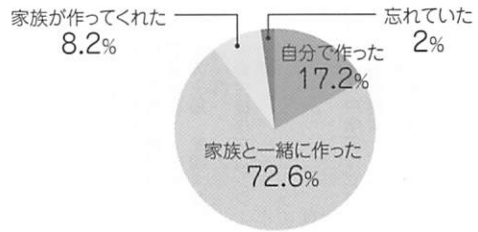
おにぎり弁当の日
【1回目】令和4年10月7日(金)
【2回目】令和4年12月5日(月)

アンケート実施日 令和4年12月5日(月)～11日(日)
回答数 157名
御協力ありがとうございました。

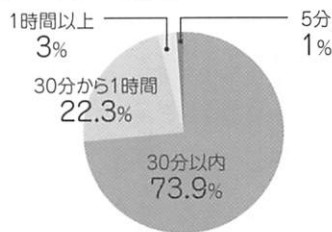
Q1 「第1回おにぎり弁当の日」のお弁当はどのようにして作りましたか？



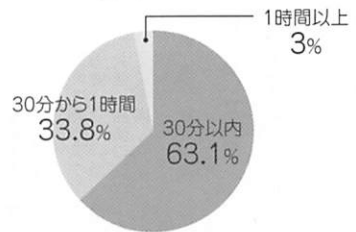
Q2 「第2回おにぎり弁当の日」のお弁当はどのようにして作りましたか？



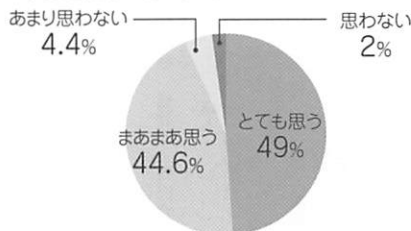
Q3 「第1回おにぎり弁当の日」のお弁当を作るのに、どのくらい時間がかかりましたか？



Q4 「第2回おにぎり弁当の日」のお弁当を作るのに、どのくらい時間がかかりましたか？



Q5 おにぎり弁当の日を実施してみてよかったですか？



アンケートを終えて

- 食の大切さを話す良い機会になった。
- 食の大切さを子ども自身が実感できた。
- 作ることへの感謝が生まれた。
- 自分で作る練習にもなり、親子で楽しい時間を過ごせた。
- 子どもが意欲的に料理し、我が家の台所作業を教える良い機会となった。

食育講話 令和4年11月22日(火)

- 【中学生の栄養について】 ・ 脂質と炭水化物を除く栄養素において、中学生の摂取すべき量が多い。
・ 鉄とカルシウムが不足しがちである。(附中は弁当昼食で牛乳がないためカルシウム不足)
- 運動する子どもの栄養 ・ たんぱく質と鉄分の摂取。 ・ 菓子パン等の摂取によるエネルギーのみの摂取によるバランスの崩れ。
・ スポーツ飲料等の過剰摂取によるビタミン不足。
 - 痩せ指向に対する栄養 ・ 鉄とカルシウムの摂取。 ・ 欠食して食事を減らすのではなく、1回の食事量を減らす。
・ 身長が発達が終わるまでは、減量するのではなく現体重の維持を目指す。
 - その他 ・ 簡易なものでも良いので朝食を摂る習慣をつける。 ・ 休みの日等は自分で調理させる。
・ マナー等を伝える。(箸の持ち方、洋食マナー、茶碗は持つ 等々、基本的なことを)

- 12月に予定していた市PTA連合会保健体育部担当者研修会は中止、1月18日(水)に予定していた市学校保健フォーラムは書面開催となりました。
- 令和5年2月3日(金)に開催を予定していた第2回学校保健委員会は、紙上報告となりました。今年度のテーマについて、「『親子の関わりを基盤に』と社会の中でも基本である家族で取り組むテーマだったので良かった。」「中学生という心身ともに成長する大切な時期に、食事・睡眠・アウトメディアに全体的に取り組むことは大変有意義だと思う。」といった意見が寄せられました。来年度のテーマの候補として、おにぎり弁当・アウトメディアについての継続、栄養、睡眠、ストレスマネジメント、運動などが挙げられました。

最後に、先生方、会員の皆様のご理解とご協力のもと、活動できましたことに心より感謝申し上げます。

